

氷見・高岡

鉄道活用し観光再生へ

高校生とモニターツアー

氷見商工会議所（富山県）は11月15日、高岡商工会議所（同）、地元高校生らと連携しJR氷見線を活用した国内外の旅行業者向けのモニターツアー「氷見線で巡る、復興応援と観光再生の旅」を実施した。同事業は、能登半島地震からの復興と観光商品の販売促進に加え、高校生による観光ガイドなどを通じた誘客促進と若い世代の参加による地域資源の継承を目的に企画した。



当日は、貸し切り列車「未来に進め！氷見線GO（号）！」を運行し、地元高校生による車内アナウンスや、国宝や名勝などの観光

氷見商工会議所は「能登半島地震からの復興に向けて観光再生事業」として観光庁から支援を受けており、JR氷見線沿線の魅力を再発見・再発信しようと、ツアーホームに沿線マッ

プの作成、ワークショップ開催、情報発信強化など復興再生への「リバイバルプラン」事業として地域資源を生かした取り組みを実施。同事業を通じて「観光と産業が発展するまち」「持続可能で魅力的なまち」を目指し、経済復興・地域産業の活性化、観光振興による地域ブランド強化、持続可能な地域交互通システムの構築に取り組んでいる。

氷見商工会議所担当者は「今回のツアーは、能登半島地震からの復興に向けて、JR氷見線を『体験価値のある観光資源』として再発見したいと思い実施した。同時に沿線の魅力を実際に体感していたただくことで、今後の観光商品化や誘客につなげていきたい。また今回、高校生の若い世代が関わったことは、地域にとって大きな財産であり、次代へと続く取り組みの第一歩になつたと感じている」と述べた。

明 地元高校生が観光ガイドとして参加者に説

列車からの景色を楽しむ参加者

も沿線マッ

ク